



取組・成果 AKKODiSコンサルティング株式会社との連携

生徒のデジタルリテラシーの向上

・情報モラルセミナー実施

フィッシングサイトの比較や簡易的なウィルス感染デモンストレーションなども交えながら情報IIの単元と関連した内容を1年生に対して実施。

・Eラーニング学習伴走支援

1月・2月は各生徒に応じた探究活動に合わせて探究フェスタやデジタル探究部などの活動と連動しながらデジタル活用のアドバイスを行った。

- デジタルリテラシー・初級 【個人情報保護】
- デジタルリテラシー・初級 【ネットワーク基礎】
- デジタルリテラシー・初級 【DX】
- デジタルリテラシー・初級 【PC入門】
- AI基礎 □IoT基礎 □クラウド基礎



・成果

90名の生徒に対してEラーニング環境を提供し約71%の生徒が受講を完了。累計500時間以上の学習を達成。

全体傾向としては理系志望の生徒は高得点の傾向。

学習前後におけるITリテラシーテストを点数の変化を比較すると、全体として向上を確認した。また理系志望の生徒はより大きい向上が見られた。ならびに学習進捗率（完了講座割合）や学習時間が大きいほどITリテラシーの合計点数や変化向上している傾向にありEラーニングがITリテラシーの向上に寄与したことがうかがえる。



部活動等への支援

・部活動 陸上部

コーチとのオンライン顔合わせ。各人の課題を整理。練習メニュー作成、動画提供を実施。その後各人に合わせてフォーム確認、動作確認を実施。期間が短く、次年度に期待。

・探究発表のアドバイス

・デジタル探究部支援

WagamamaAwards（アプリ開発）・川本町イベントのアシスト



教職員のデジタルリテラシーの向上

・ITリテラシーアセスメント実施

全体傾向としては当社データ平均より全体的に低いものの、高得点層は7名はITリテラシー基礎、先端技術ともに高く、中得点層と二分されている傾向にある。

・教職員向け課題解決

各分掌ごとに課題を検討し、ロジックツリーを活用し、課題点を確認し、課題解決を目指している。

例【島根中央高校における進路指導状況】

部活動や探究活動に魅力を感じている生徒が多く在籍しているにも関わらず、それを軸に多様な進路指導や学習指導を進めていきたいものの、事務負担の多忙、学校外との連携不足を理由に接続が十分にできていない。それによって生徒は学びが未来に繋がる実感をもてずに現状突破できずにいる。



アンケート結果

1年生に対してデジタル機器やICTの教育利活用についての生徒の意識調査を実施した。1回目から2回目でデジタル機器の利用頻度、デジタル教育推進への意識、セキュリティ意識、将来へのデジタル活用の面で数値が向上し、肯定的な意識を持っていることを確認できた。ICT機器を日常的に活用しており、デジタル化に対してポジティブに考えていること、セキュリティ、プライバシーについても意識が高く、将来についてもデジタル利用した仕事に就きたいと考えていることが明らかになった。

専門的な指導を遠隔や対面で受けることにより、DXについての意識づけが推進され、生徒と教職員の課題発見-解決意識の向上、チームワークなどの協働性の向上、教職員の伴走支援力の向上などにつながっている。

成果目標 R08年度に

※「目指す力」全項目におけるアンケート肯定的回答が80%以上

※理系（情報系）進学者の割合を20%→30%へ